

事業報告書

第 10期

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

認定NPO法人JASH日本性の健康協会

2022年度の事業報告書

認定 NPO 法人 JASH 日本性の健康協会

1 事業の成果

引き続きコロナ禍の影響が大きかったが、LGBTQを含めたマイノリティ啓発事業では、令和4年度船橋市市民公益活動公募型支援を受け、交流・対話型イベントを4回開催した。4回目は船橋市長松戸徹氏と代表理事あみちえの対談が実現し、船橋市でパートナーシップ宣誓をしているLGBTQ当事者の声を伝えたほか、LGBTQの理解促進のためにNPO法人など市民活動への期待を市長から寄せられたことは大きかった。また2023年2月に認定NPO法人となり、お祝いの言葉もいただいた。公益公募型支援では、啓発活動をオンライン広告に特化し、facebook 広告にイラストや漫画を取り入れたほか、船橋市公式サイトへの広告掲載などを実施した。広告への反応は限定的ではあったが、3年間の公募型支援事業の締めくくりとして、市長対談の実現や認定NPO法人を取得したことなど、船橋市においてプレゼンスを高められたと感じている。その他、5年連続で船橋市市民協働課主催の市民向け講座『言葉は知っているけれど…もっと知りたい！あなたの街とLGBTQ』に企画・登壇したほか、卒業論文や調べ学習等のためにLGBTQ当事者やAllyへインタビューしたいという学生からの依頼にも引き続き対応した。LGBTQ当事者やAllyと直接コンタクトが取れる窓口として調査・研究協力は学生向けの事業として確立させていく。

性の健康推進事業では、船橋市の小学校のPTA向け家庭教育セミナーの登壇依頼が3件あり、保護者むけに子どもへの性の話をテーマに複数回の実績ができた。代表があみちえになったことで船橋市での知名度もあがり依頼が増えている。また1回分は動画での提供依頼があり、性という取っつきにくいテーマであっても個人による視聴を促すことができ、良い試みだった。3月には認定NPO法人化のお祝いも兼ねエイズ・サポート千葉との共催セミナー『いま、あなたに知っていて欲しい・・・性感染症－HIV/AIDS A型肝炎 梅毒 m痘 (Mpox)』を千葉大学医学部附属病院セクシャルヘルス外来担当の谷口俊文先生を招聘して実施した。

また、「性の健康」という概念の普及については、企業2社（NEC、デロイトトーマツコンサルティング）のプロボノ支援を一年間いただき、基本理念とミッションの徹底した見直しに取り組んだ。

基本理念

「性」について、一人ひとりが人生の「プレジャー（ここちよさ、悦び、楽しさ、快感）として捉えられ、「性」のwell-beingが実現できる社会を目指す。

「性」にまつわる事柄についてすべての人が、

- ・平等に知識や情報が得られる
- ・当たり前ものとして肯定的に捉え、語る事ができる
- ・自由に自己決定ができる

ミッション

概念のアップデートと安心・プレジャーの確立

- ・現在社会に存在する「性」を当たり前で日常のものとして捉えることを阻害する従来の概念のアップデート
- ・一人ひとりの「性」に関する尊厳が守られることで感じられる安心とプレジャーの確立

基本理念が示す社会を目指し、JASHはミッション達成の活動をしていくため、2023年度はまずは大学生など学生を対象とした新規事業展開を計画している。

その他、メンバー向けに内部研修として代表あみちえによるリアルボイス研修『性被害と共に生きる～あの日、あれから、そして今』を実施したほか、産業カウンセラー勉強会 2007 との連携でモニターカウンセリングを通してメンバーのメンタルケアに一役買う仕組みを継続した。

ボランティアとのコミュニケーションは slack や雑談 zoom を継続しており、講演やインタビューボランティアの募集から打合せに活用し、LGBTQ や Ally という立場を超えて、オンラインの居場所ともなっている。コロナ禍で、居場所を求めるニーズはあり、学生ボランティアの参加も増やしさらなる活性化をしていきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 |
|-------------------------------|---|---------------|----------------|--------|--------------------|
| セミナー・イベントの開催、出版物の発行など性の健康推進事業 | ・NPO 法人向け性教育講座登壇 | 8/22 | オンライン | 10 人 | 中学生 6 名 |
| | ・就学時健診 子育て講演会登壇 | 11/25 | 千葉県船橋市 | | 船橋市内の未就学児の保護者 85 人 |
| | ・PTA 向け家庭教育セミナー登壇 | 1/24、2/5、2/22 | 千葉県船橋市 / オンライン | | 船橋市内小学生保護者 100 人 |
| | ・エイズ・サポート千葉共催 千葉大学医学部附属病院セクシャルヘルス外来担当谷口俊文先生セミナー | 3/21 | オンライン | | 一般人 30 人 |

| | | | | | |
|---|---|---------------------|-----------------------|--------|---------------|
| 性の多様性、様々な家族やパートナーシップの形に関連したイベントや提言活動など LGBTQ を含めたマイノリティ啓発事業 | ・ All Sexuality 交流会（令和4 年度船橋市市民公益活動公募型支援事業） | 6/19、9/18、1/15、3/25 | 千葉県 船橋市 / オンライン | 10 人 | 一般人 30 人 |
| | ・ 産業カウンセラー自主勉強会 2007 の 15 周年企画登壇 | 10/29 | 東京都 | | 産業カウンセラー 30 人 |
| | ・ 船橋市主催『言葉は知っているけれど…もっと知りたい！あなたの街と LGBTQ』登壇 | 12/17 | 千葉県 船橋市 | | 一般人 14 人 |
| | ・ 公益財団法人ちば県民保健予防財団 職員研修登壇 | 2/24 | 千葉県 千葉市 | | 職員 50 人 |
| | ・ 船橋市市民活動フェアパネル展示 | 11 月 | 千葉県 船橋市 | | 不特定多数の一般人 |
| ・ LGBTQ 当事者へのヒアリング等学校や大学生からの依頼や調査に対応 | 都度 | オンライン | | 学生 7 人 | |

※2022 年度通常総会にて定款を変更、事業名を明確にした。

調査・研究協力：

2022 年度実績（許諾を得た方のみ学校名を掲載、その他多数あり）：

| 実施月 | 学校名 | 内容 |
|----------------|-------------------|---|
| 2022 年 6 月 | 中央大学経済学部 | LGBTQ+ の社会学 アンコンシャスバイアスについて インタビュー協力 |
| 2022 年 9 月 | 筑波大学大学院人間総合科学学術院 | セクシュアル・マイノリティの Ally 像に関する研究 インタビュー協力 |
| 2022 年 11 月 | 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 | 第三のトイレについて インタビュー協力 |
| 2023 年 1 月、3 月 | 立命館大学国際関係学部国際関係学科 | 「LGBTQ+ 当事者の方々が就活の際に感じたモヤモヤ」や、「実際に働いてみて職場での制度等に感じたこと」インタビュー協力 |

連携：

2022年12月 船橋市市民公益活動公募型支援事業の審査会委員委嘱 代表あみちえ

2022年4月～2023年3月 産業カウンセラー自主勉強会 2007 モニターカウンセリングに参加

2023年2月 ダイバーシティ研究会の調査研究に協力（一社）中小企業診断協会の調査研究事業

『中小企業における LGBTQ など性的マイノリティの活躍支援についての調査研究報告書
～見えづらいダイバーシティとしての性の多様性の理解促進～』

メディア掲載：

2022年度 特になし

（2）その他の事業

なし

3 組織体制

2022年8月に認定NPO法人の申請をし、11月に審査があった。会計処理や招集通知の方法など軽微な改善は必要だったが、2023年2月に認定NPO法人となった。千葉県船橋市では第一号となり、船橋市長を始めとして様々な方からお祝いのお言葉をいただいた。寄付控除対象団体として、信頼性が高まったため、継続して組織基盤を強化し、活動メンバー、支援者、寄付者を増やしていきたい。また、企業2社のプロボノ支援を一年間いただいたことにより、基本理念とミッションの見直しができるため、今後はJASHのミッションである性の健康という概念の認知度向上、浸透のための事業活動の確立をしていくため、プロトタイプを取り組みを進めている。

4 2022年度申請助成金等

特になし。

貸借対照表

NPO法人JASH日本性の健康協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 3月31日 現在

| | | 《資産の部》 | |
|------------|--|----------------|----------------|
| 【流動資産】 | | | |
| (現金・預金) | | | |
| 普通預金 | | 314,698 | |
| 現金・預金計 | | <u>314,698</u> | |
| (売上債権) | | | |
| 未収金 | | 79,012 | |
| 売上債権計 | | <u>79,012</u> | |
| 流動資産合計 | | | 393,710 |
| 資産合計 | | | <u>393,710</u> |
| | | 《負債の部》 | |
| 【流動負債】 | | | |
| 流動負債合計 | | | 0 |
| 【固定負債】 | | | |
| 長期借入金 | | 525,507 | |
| 固定負債合計 | | <u>525,507</u> | |
| 負債合計 | | | 525,507 |
| | | 《正味財産の部》 | |
| 前期繰越正味財産 | | △ 186,346 | |
| 当期正味財産増減額 | | <u>54,549</u> | |
| 正味財産合計 | | | △ 131,797 |
| 負債及び正味財産合計 | | | <u>393,710</u> |

財 産 目 録

NPO法人JASH日本性の健康協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 3月31日 現在

| | | 《資産の部》 | |
|---------|----------------|----------------|-------------------------|
| 【流動資産】 | | | |
| (現金・預金) | | | |
| 普通預金 | 314,698 | | |
| 現金・預金計 | <u>314,698</u> | | |
| (売上債権) | | | |
| 未収金 | 79,012 | | |
| 売上債権計 | <u>79,012</u> | | |
| 流動資産合計 | | <u>393,710</u> | |
| 資産合計 | | | 393,710 |
| | | | 《負債の部》 |
| 【流動負債】 | | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 【固定負債】 | | | |
| 長期借入金 | 525,507 | | |
| 固定負債合計 | <u>525,507</u> | <u>525,507</u> | |
| 負債合計 | | | <u>525,507</u> |
| 正味財産 | | | <u><u>△ 131,797</u></u> |

活動計算書

[税込] (単位: 円)

NPO法人JASH日本性の健康協会

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

| | | | |
|--------------|----------------|----------------|-------------------------|
| 【経常収益】 | | | |
| 【受取会費】 | | | |
| 正会員受取会費 | | 65,000 | |
| 【受取寄付金】 | | | |
| 受取寄付金 | | 109,672 | |
| 【受取助成金等】 | | | |
| 受取助成金 | | 63,314 | |
| 【事業収益】 | | | |
| 自主事業収益 | | 247,791 | |
| 【その他収益】 | | | |
| 受取利息 | | 1 | |
| 経常収益計 | | <u>1</u> | 485,778 |
| 【経常費用】 | | | |
| 【事業費】 | | | |
| (人件費) | | | |
| 人件費計 | | <u>0</u> | |
| (その他経費) | | | |
| 諸謝金 | 85,200 | | |
| 広告宣伝費 | 109,960 | | |
| 会議費 | 20,540 | | |
| 旅費交通費 | 17,706 | | |
| 通信運搬費 | 30,140 | | |
| 消耗品費 | 4,206 | | |
| 教育研修費 | 37,525 | | |
| その他経費計 | <u>305,277</u> | | |
| 事業費計 | | | 305,277 |
| 【管理費】 | | | |
| (人件費) | | | |
| 人件費計 | | <u>0</u> | |
| (その他経費) | | | |
| 会議費 | 16,721 | | |
| 旅費交通費 | 6,524 | | |
| 通信運搬費 | 3,380 | | |
| 消耗品費 | 9,230 | | |
| 賃借料 | 9,294 | | |
| 広告宣伝費 | 16,989 | | |
| 新聞図書費 | 2,750 | | |
| 諸会費 | 12,000 | | |
| 租税公課 | 1,800 | | |
| 支払手数料 | 34,243 | | |
| その他経費計 | <u>112,931</u> | | |
| 管理費計 | | | 112,931 |
| 経常費用計 | | <u>112,931</u> | 418,208 |
| 当期経常増減額 | | | <u>67,570</u> |
| 【経常外収益】 | | | |
| 経常外収益計 | | | 0 |
| 【経常外費用】 | | | |
| 過年度損益修正損 | | <u>13,021</u> | |
| 経常外費用計 | | | <u>13,021</u> |
| 税引前当期正味財産増減額 | | | <u>54,549</u> |
| 当期正味財産増減額 | | | 54,549 |
| 前期繰越正味財産額 | | | <u>△ 186,346</u> |
| 次期繰越正味財産額 | | | <u><u>△ 131,797</u></u> |

財務諸表の注記

NPO法人JASH日本性の健康協会

2023年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

【事業別損益の内訳】

[税込] (単位：円)

| 科目 | 講演部門 | 船橋部門 | 管理 | 合計 |
|--------------|---------|----------|---------|---------|
| 経常収益計 | 225,726 | 85,379 | 174,673 | 485,778 |
| (人件費) | | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (その他経費) | | | | |
| 諸謝金 | 75,200 | 10,000 | 0 | 85,200 |
| 広告宣伝費 | 0 | 109,960 | 16,989 | 126,949 |
| 会議費 | 6,640 | 13,900 | 16,721 | 37,261 |
| 旅費交通費 | 15,560 | 2,146 | 6,524 | 24,230 |
| 通信運搬費 | 25,740 | 4,400 | 3,380 | 33,520 |
| 消耗品費 | 2,546 | 1,660 | 9,230 | 13,436 |
| 教育研修費 | 37,525 | 0 | 0 | 37,525 |
| 賃借料 | 0 | 0 | 9,294 | 9,294 |
| 新聞図書費 | 0 | 0 | 2,750 | 2,750 |
| 諸会費 | 0 | 0 | 12,000 | 12,000 |
| 租税公課 | 0 | 0 | 1,800 | 1,800 |
| 支払手数料 | 0 | 0 | 34,243 | 34,243 |
| その他経費計 | 163,211 | 142,066 | 112,931 | 418,208 |
| 合計 | 163,211 | 142,066 | 112,931 | 418,208 |
| 当期経常増減額 | 62,515 | △ 56,687 | 61,742 | 67,570 |

【使途等が制約された寄付等の内訳】

(単位：円)

| 内容 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 備考 |
|-----------------|------|--------|-------|--------|---|
| 船橋市市民公益活動公募型支援金 | 0 | 63,314 | 0 | 63,314 | LGBT事業部門として交付の決定を受けた助成金63,314円は、次期に入金予定のため未収助成金として計上していません。 |
| 合計 | 0 | 63,314 | 0 | 63,314 | |

【借入金を増減内訳】

(単位：円)

| 科目 | 期首残高 | 当期借入 | 当期返済 | 期末残高 |
|-----------|---------|------|------|---------|
| 長期借入金（役員） | 525,507 | 0 | 0 | 525,507 |
| 合計 | 525,507 | 0 | 0 | 525,507 |

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

無し